

ミナミハンドウイルカの個体識別調査結果(2025年)

今号では、2025年に実施したミナミハンドウイルカの個体識別調査の結果をご報告します。2025年は、聳島列島周辺海域で5回、父島列島周辺海域で17回、母島列島周辺海域で3回の調査を行いました。皆様からご提供いただいたデータと合わせて、過去最多となる計135個体を識別することができ、これまでの累計識別個体数は321個体となりました。また、新生児を12頭確認することができました。調査の実施にあたり、貴重な情報やデータをご提供くださった皆様に、改めて御礼申し上げます。2026年もどうぞよろしくお願いいたします。

最も出会えたイルカたち

16回 #309 アシメ(♂)

観察歴:2015年～ 確認海域:聳島列島、父島列島



吻が左右にずれていることから、「アシメ(非対称)」というニックネームがつけました。右側に大きな欠損のある尾ビレが最もわかりやすい識別ポイントですが、背ビレの上半分ほどもギザギザに欠けているため、背ビレでも識別できます。母親である#234(ドンドン)は、2016年を最後に確認されていません。

16回 #385 ビヘイブ(♂)

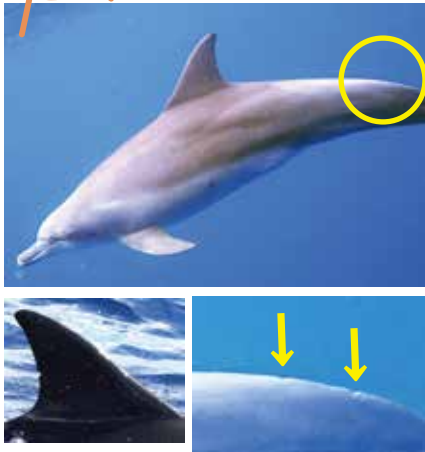
観察歴:2021年～ 確認海域:父島列島



#19(スポッティー)の子どもで、新生児の頃から観察できている個体です。尾ビレの付け根あたり(尾柄部)に欠損があることが、名前の由来です。2024年に親離れた後も、母親の#19や姉の#342(ライン)と同じ群れで過ごしていることがしばしばあります。#19は今年11月に新たな子どもを連れていることが確認されました。

15回 #336 Y2カット(♀)

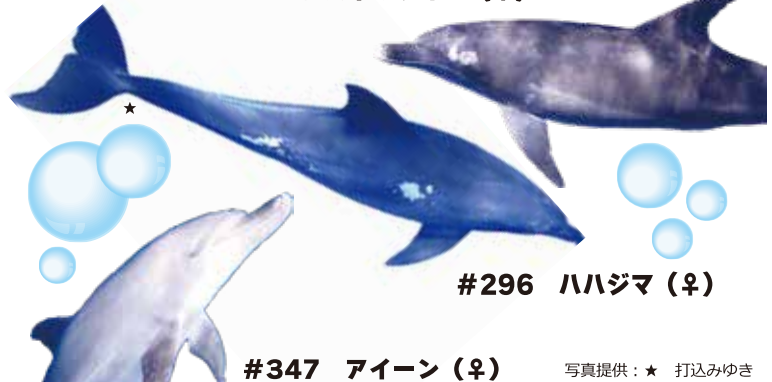
観察歴:2016年～ 確認海域:父島列島



尾柄部付近に切れ込みが2つあるのが特徴の個体です。これまで連れていた子どもの#388(だいふく)は2025年に親離れし、同年10月初めには、新たに生まれたばかりの子どもを連れている姿が確認されました。兄の#388と同様に、無事に育ってくれるよう、見守っていききたいと思います！

第4位(14回)のイルカたち

#19 スポッティー(♀)



#296 ハハジマ(♀)

#347 アイーン(♀)

写真提供:★ 打込みゆき

...クジラの陸上観察会のお知らせ...

ザトウクジラの来遊シーズン中、おがさわら丸入港日の夕方に父島・ウェザーステーション展望台および母島・鯨ヶ崎展望台にて「クジラの陸上観察会」を開催いたします。それぞれの実施日時は下記の通りです。ご興味のある方、ご参加お待ちしております。

※どちらも参加無料。事前申込不要、現地集合・解散
※天候・海況不良の場合は中止

【父島】

場所:ウェザーステーション展望台

日程:1/21～4/1のおがさわら丸入港日

時間:16時～17時

【母島】

場所:鯨ヶ崎展望台

日程:2/14～3/26のおがさわら丸入港日(予定)

時間:16時30分～日没

(詳細は母島観光協会のHPをご覧ください。)

